

■ 専門科目

ビジュアルデザイン

視覚情報論

2026年度開講・選択・2単位

Theoretical Studies of Visual Information

担当教員 黄國賓、秋山伸、杉本真理子

授業の目的と到達目標（学修成果）

情報メディアデザインの表現における知識、技術、ノウハウを身に着ける。

コミュニケーションデザインの表現に説得力にあふれるプレゼンテーションノウハウを身に着ける。

情報社会に求められるビジュアルメディア、編集論とその表現を深い次元で身につける。

授業計画の概要

視覚情報デザインにおける社会的文脈とメディア、および個人的な感性に重点を置き、専門的な実務への対応を前提とした授業である。人間の情報伝達、コミュニケーションを媒介する多様な視覚情報デザインの表現手法を理解し、「ビジュアルコミュニケーションデザイン」「図像と文字のデザイン」「音楽メディアと視覚造型」三つの横断的な領域の習得を通じて、多元化の情報社会に求められているコミュニケーション力、表現技術、プレゼンテーション能力をさらに一段階上の創造力を身につけることが本授業の目的である。

コンテンツ創成論

2026年度開講・選択・2単位

Theory of Contents Creation

担当教員 榮元正博、久本直子、白玖欣宏

授業の目的と到達目標（学修成果）

各分野の専門領域を超えて、メディアにおける表現を軸に、多様なメディアコンテンツにおける知識、技能、表現力を身につけ、魅力的なコンテンツや表現手法を創り出すことができるようになる。

授業計画の概要

日本のゲームやアニメといったコンテンツが世界を席巻している現在、さまざまなメディアを活用した表現は、高速・高度化するコンピュータ環境や、Web をはじめとして爆発的に増殖する情報コンテンツといった側面とともに、そのコンテンツ表現の可能性は益々拡大してきている。本プログラムではコンテンツ制作と産業、メディアと表現、さらにはコンテンツに関わる学術分野を俯瞰的に講義し、横断的なメディアコンテンツについての創成力とおよび技能を学ぶ。課題テーマに応じて実践的な計画、リサーチ、制作、プレゼンテーションなどの演習を通じて、魅力的なメディアコンテンツ制作に必要な知識とスキルを身につける。

グラフィック造形論

前期・選択・2単位

Theoretical Studies of Graphic Design

担当教員 萩原こまき、近藤聡

履修制限等

15名程度。上限を超えた場合には抽選を行うことがある。

授業の目的と到達目標（学修成果）

グラフィックデザインの領域に関するさまざまな表現や、そこに至るまでの過程を理解することで、多様な情報伝達を行うための知見を得る。

授業計画の概要

グラフィックデザインは主に平面的な媒体の上に、イラストレーション・写真・文字が表示されることによって情報伝達が行われる。現代においては、技術の発達からメディアも手法も多様になり、デザイナーに求められる役割も広がっている。この授業ではグラフィックデザインにおける造形性に加え、表現に内包されるコミュニケーションとの関係性などを、講義や実制作を通して体感的に学んでいく。